

令和7年度通学路交通安全対策要望 対応状況一覧

学校No.	学校名	No	新規・継続	要望先	要望箇所	要望箇所の現況	分類	要望内容の詳細	※R7回答欄	
									計画	説明
23	傍陽小学校	1	継続	県・市	県道158号傍陽菅平線 下横道地区五叉路交差点	石灯籠が立っているため通学路から見ると、田中方面から来る車の確認がしにくい。	⑥道路設備	横断歩道の待ち場の安全を図るため車線分離標の設置	検討中	真田建設課：既設の車線分離標（ラバーコーン）の設置位置等について関係者と協議します。 県：合同点検による状況把握が必要。
		2	継続	県	県道長野真田線（35号線）JA傍陽T字路の横断歩道	35号線を走る車が、傍陽小方面へ右折する際、横断歩道を渡る歩行者に気づきにくい。児童クラブがそえひ保育園横に設置されており、毎日15名ほどが横断歩道を利用している。	③その他	横断歩道の手前のカラー舗装 横断歩道に注意して通行する旨の看板設置	実施予定なし	合同点検による状況把握が必要。
		3	継続	県	県道長野真田線（35号線）入軽井沢地区から曲尾信号まで	真田町～新地蔵峠～長野市松代へ通じる幹線道路で、大型トラックの往来が多く、スピードを出している。県道にかかる横断歩道は各地区で危険箇所となっている。 特に、JA傍陽周辺の舗装工事後、さらにスピードを出す車が多くなっており、大変危険。横断歩道周辺をスピード抑制道路にしたいだけよう、検討していただきたい。	③その他	横断歩道手前をスピード抑制道路化 横断歩道に注意して通行する旨の看板設置	実施予定なし	合同点検による状況把握が必要。